

## 第6学年学級活動(1)指導案

### 1 題材名

「6年 組の学級ルールをつくろう！ 掃除レベルアップ大作戦」

### 2 題材設定の理由

- 本学級の児童は、自分自身のことや、学級の友達のことを全般的には肯定的に捉えている。人間関係も比較的良好である。委員会活動や当番の仕事などは、決まったやり方があれば、それを丁寧にこなしていくことができる児童が多い。

しかし、友達との和を保つことを優先しすぎて、自分の思いや考えを人に十分伝えきれていないという面もある。また、児童自らが学校生活における問題点を指摘し合い、解決方法を見出し、力を合わせて取り組んでいこうとする姿勢には欠けるものがある。

1学期末に学級で行ったアンケート調査によると、学級の %の児童が「掃除をよりよくしたい。」と考えている。言葉遣いについては学級の %、挨拶に至っては %とさらに多くの児童が課題意識を持っている。このことから、学級の様々な活動をよりよくしたいという気持ちが児童の中にはあるが、具体的な方策を見出せていないことに学級の一番の課題があると言える。

- 本題材は、学級における掃除の問題点をとらえさせ、話し合ってルールを設定し、それを守ってよりよい学級をめざしていこうとする態度を育成していくことをねらいとしている。

学級における問題点は多々ある中で、今回は掃除に焦点を当ててルールづくりの活動を行うことにした。掃除は学級の児童全員が同じ時間に一斉に取り組む上、グループの共同作業であり、基本的なやり方が決まっているため、活動にルールが介在しやすいと考えたからである。

みんなで話し合っただけで決めたルールを守って、掃除の仕方そのものを改善していくことも大切である。しかし、ルールづくりの活動を通して、学級の問題点とその改善策を見出し、自分から具体的に行動できる力を育成することや、さらには将来必要となってくる社会性を一人一人に身に付けさせるという観点からも意義のあることだと考えている。

- 指導にあたっては、事前の活動において、まず、掃除についての問題点をVTRで客観的にとらえさせた上で、掃除についてのルールづくりを行う。その後、1週間の試行期間をふり返らせて、みんなの決めたルールのどこがよかったのか、またよくなかったのか、自分の考えを確定させておく。みんなの考えを実行委員で集約し、見直したルールの原案を作成させる。

本時の活動においては、実行委員から提案されたルールを検討し、ルールの追加・修正・廃止を決定していく。本時の活動で重視するのは、話し合いにおける協調性である。自分の考えを主張しつつも、よりよい学級生活をめざして、折り合いをつけて話し合いができるようにする。そのための手だてとして、ルールづくりの三つの条件（本当にできるルールか、どの立場の人のことも考えているか、学級目標にかなっているか。）を提示し、それを意識した話し合いができるようにする。

事後は、話し合いで見直したルールのもとに掃除の実践を行う。ルールは随時見直しができるようにするため、設置している議題箱を活用して意見を出すことができるようにしておく。

掃除のルールが定着した段階で、掃除以外に挙がっている学級の問題についても、ルールづくりの活動を行っていく。

### 3 目標

- よりよい学級を自分自身でつくるために進んで話し合い、決まったルールを守って実践しようとしている。（関心・意欲・態度）
- 学級の掃除の様子やルールづくりの条件を考慮して、どんなルールをつくれば学級がよりよくなるかを考えることができる。（思考・判断）
- 学級で決まったルールを守るために自分の課題を見つけ、自分の掃除の仕方を改善することができる。（技能・表現）
- 学級で決まったルールの内容を理解することができるとともに、ルールを守ることの意義を理解することができる。（知識・理解）

#### 4 指導計画

避	児童の活動	指導上の留意点	日時
事前	1 学級の目標と課題についてのアンケートの調査項目に答える。	○ 学級の課題を把握するため、学級目標の達成状況と学級でよりよくしていきたい内容を調査する。	7月21日(火) 3校時 (特別活動)
	2 道徳の時間を使って、きまりを守る大切さについて学習をする。資料「吉田さんの朝」	○ きまりを守ることの大切さを理解させるため、自分もみんなも気持ちよく過ごすためにきまりはつくられていることに気付かせる。	9月6日(月) 6校時 (道徳)
	3 学級における掃除の問題点を把握し、話し合いで掃除のルールをつくる。	○ 問題点を客観的に把握させるため、掃除の現状の様子をビデオで視聴させる。	9月8日(水) 4校時 (特別活動)
	4 決まったルールを守って掃除の実践をする。(1週間の試行)	○ ルールを意識して掃除の実践ができるようにするため、話し合っって作ったルールを掲示しておく。	9月9日(木) ～15日(水) (日常生活)
本時	5 学級会で掃除のルールの見直しについて話し合い、ルールの修正・追加・廃止を決定する。	○ 自分の考えを確定して学級会に参加できるようにするため、提案を事前に紙面に書き出して配布しておく。	9月22日(水) 5校時 (特別活動)
事後	6 見直したルールを守って掃除の実践をする。	○ ルールを意識して掃除の実践ができるようにするため、話し合っって見直したルールを掲示する。	9月23日(金)～ (日常生活)
	7 掃除のルールの見直しをする。	○ ルールは随時見直しができるようにするため、設置している議題箱を活用して意見を投函できるようにする。	9月23日(金)～ (日常生活・学級活動等)

#### 5 本時

平成22年9月 日( ) 第 校時 第6学年 組教室

##### (1) ねらい

- ルールづくりの条件を判断の基準として、学級をよりよくしていくための掃除のルールを考えることができる。(思考・判断)
- 友達の考えのよさを認めつつ、自分の意見とその理由をはっきりと分かりやすく話すことができる。(技能・表現)

##### (2) 展開

児童の活動	○指導上の留意点 ◎社会性を育成する留意点
1 はじめの言葉 2 司会グループの紹介 3 話し合いの進め方の確認 ○議題	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">掃除時間のルールを見直そう。</div>	

○提案理由	
○めあて	
4 先生の話	◎ 話し合う観点を明確にし、折り合いをつけた話し合いができるよう、ルールづくりの条件を提示する。
5 話し合い	(協調性)
(1) 実行委員による原案の提案 (2) 提案への質問 (3) 意見交流 (4) 見直したルールの決定	◎ 児童が自分の考えを持って話し合いに参加できるように、実行委員が作った原案を事前に配布しておく。 ◎ 児童が自分の意見を言いやすいように、確定した自分の考えをノートに書くよう指導しておく。(責任感) ◎ 意見が対立してどうしても決定できない場合は、決定方法を学級全体で確認するよう司会の児童に助言する。(協調性)
6 話し合いのふり返り	◎ 子どもたちの頑張りを賞賛できるよう、期間巡視をして自己評価を観察しておく。
7 先生の話	◎ 児童が今後の活動に意欲を持つことができるように、分かりやすく提案したり友達の出した考えを取り入れたりしてルールづくりができたことを賞賛する。
8 終わりの言葉	

## 7 評価

- 自分の考えを明確に持って話し合いに参加し、見直したルールを守って今後の実践をしようとしているか。(関心・意欲・態度)
- 話し合いで出された意見がルールづくりの条件に合っているかどうか判断することができたか。(思考・判断)
- 友達の考えのよいところを受け入れるとともに、根拠を明確にして自分の意見を言うことができたか。(技能・表現)
- ルールを守ることの意義と見直したルールの内容を理解することができたか。(知識・理解)